

令和3年度



ふるさと くまもと応援寄附金

使途事業報告書





熊本を応援してくださっている皆様へ

「ふるさとくまもと応援寄附金」をお寄せくださり、誠にありがとうございました。

本県は、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨という県政史上例を見ない苦難に見舞われていますが、この三重苦を乗り越えるべく、「誰一人取り残さないくまもとづくり」を全ての取組みの基本に掲げ、「新しいくまもと」を創造するために全力を尽くしております。

そのような中、皆様からの貴重な御寄附を賜り、様々な取組みに活用させていただいております。この冊子では、それらのうち代表的な取組みについて御報告いたします。

今後も創造的復興をさらに進め、熊本の発展につなげるため、

強い思いをもって全身全霊で取り組んで参りますので、皆様には引き続き熱い御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和3年11月
熊本県知事

蒲島 郁夫

令和2年4月から令和3年3月までの間に寄せられた
「ふるさとくまもと応援寄附金」

6,281件 約5億8千万円

○ふるさとくまもと応援分

- ・教育・文化の振興
- ・保健・医療・福祉の充実
- ・地域活性化
- ・産業振興
- ・安全で安心な県民生活の確保
- ・環境の保全・再生
- ・令和2年7月豪雨、熊本地震関連事業等



○くまモン応援分

「100年後も愛されるくまモン」を目指すため、くまモンの活動に活用します。

○夢教育応援分

子どもたちの教育に役立てます。
また、応援する県内高等学校・特別支援学校(高等部)、その他団体等を指定されると寄附額の半額を交付します。

○NPO等支援分







地域における様々な課題の解決に向けて公益的な活動を行っているNPO等の支援に活用します。

○新型コロナウイルス感染症対策分

新型コロナウイルスの感染症拡大防止や、県民生活・県経済への影響の最小化、社会・経済活動の回復等に向けた取組みに、幅広く活用します。

寄せられた寄附金で実施する事業 目次

これまでにいただいた寄附金の一部を次の事業に活用させていただきます

 ふるさとくまもとづくり応援分<令和2年7月豪雨に関する事業>		
1 防災行動計画の普及に取り組んでいます	03
2 高齢者や障がい者などを守るための避難計画作成を支援しています	03
3 被災地域の鉄道運休の影響を受けた生徒の通学を支援しています	04
4 県南地域の農水産業の持続的発展による復興に取り組んでいます	04
5 文化活動を通じた心の復興に取り組んでいます	04
 ふるさとくまもとづくり応援分<令和2年7月豪雨以外の事業(熊本地震など)>		
6 熊本地震の教訓等を後世に伝える取組みを行っています	05
7 熊本地震の記録をインターネットで発信しています	05
8 世界で活躍するアスリートの発掘・育成に取り組んでいます	06
9 児童相談所一時保護所の児童に配慮した空間づくりを行っています	06
10 障がい者芸術の展覧会開催を支援しています	07
11 地域づくりの取組みを支援しています	07
12 企業の農業参入を支援しています	08
13 農業分野における人材確保を支援しています	08
14 市町村の防災体制・災害対応力の強化を支援しています	09
15 土砂災害警戒区域の指定のための調査を行っています	09
16 ゼロカーボン実現に向けた取組みを進めています	10
17 球磨川流域での住宅のCO ₂ 削減を推進しています	10
18 生活再建に向けた総合的な支援を行っています	11
 くまモン応援分	11
 夢教育応援分	12
 NPO等支援分	13
 新型コロナウイルス感染症対策分	13



ふるさとくまもとづくり応援分<令和2年7月豪雨に関する事業>

1

マイタイムライン(防災行動計画)の普及に取り組んでいます



令和2年7月豪雨の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」(自助)意識を醸成するため、一人ひとりの防災行動計画である「くまもとマイタイムライン」の全県民・世帯への普及に取り組んでいます。

市町村と連携して、高齢者をはじめ、幅広い世代への普及や避難訓練等での活用等により、確実な避難による「逃げ遅れゼロ」の実現を目指します。

自助力強化推進事業
寄附金充当額 5,000千円

2

高齢者や障がい者などを守るための避難計画作成を支援しています



災害時にひとりで避難することが難しく、何らかの手助けが必要な高齢者や障がい者などの避難行動要支援者を守るため、対象者ごとに避難先、避難経路及び避難支援者を記入した避難計画の作成や見直しを進める市町村を支援しています。

今年度は、新たにアドバイザーの派遣制度や補助制度を創設しました。

災害弱者支援事業
寄附金充当額 5,000千円

3

被災地域の鉄道運休の影響を受けた生徒の通学を支援しています



令和2年7月豪雨により県南地域を走るくま川鉄道、JR肥薩線が運休し、高校生等の通学に大きな支障が生じています。通学手段を緊急的に確保するため、くま川鉄道の代替輸送バスの運行支援や、保護者団体が実施している高速バス利用者への運賃助成や通学タクシーの運行に対する支援に取り組んでいます。

高等学校等通学支援事業(7月豪雨対応分)
寄附金充当額 20,000千円

4

県南地域の農林水産業の持続的発展による復興に取り組んでいます

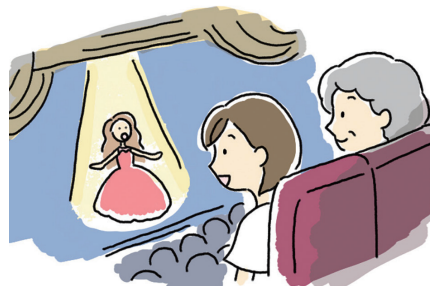


令和2年7月豪雨により大きな被害を受けた県南地域の復興を図るためには、基幹産業である一次産業の持続的発展が不可欠です。そこで、市場規模の大きい都市圏の消費者を対象とした県南地域の農林水産物の販売促進フェアなどを開催することで、県南産品のファンを獲得し、生産者等の収益拡大につなげます。

地域未来モデル事業のうち
フードノラー地域農産物活用拠点強化事業
寄附金充当額 2,900千円

5

文化活動を通じた心の復興に取り組んでいます



熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨のトリプルパンチに見舞われ、多くの県民が疲弊し、閉塞感が漂っています。

被災地で舞台公演やトークイベントを実施し、県民に未来への希望や生きる勇気を届け、心の復興につなげます。

脱トリプルパンチ 心の復興支援事業
寄附金充当額 20,000千円



ふるさとくまもとづくり応援分〈令和2年7月豪雨以外の事業(熊本地震など)〉

6

熊本地震の教訓等を後世に伝える 取組みを行っています



熊本地震の教訓などを後世に伝え、今後の災害対応に活かすとともに、夢にあふれる新たな熊本の創造につなげるため、震災遺構等を活用した熊本地震震災ミュージアムの実現に向けた取組みを進めています。

各地に点在する震災遺構において、地震被害の状況や被災体験をお伝えする「語り部」の研修なども行っています。

ホームページ: <https://kumamotojishin-museum.com/>

熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業
寄附金充当額 5,000千円

7

熊本地震の記録をインターネットで 発信しています



熊本地震の被害や復旧・復興の状況について、専用サイト「熊本地震デジタルアーカイブ」で写真や記録誌等の資料を公開しています。

令和3年度は、令和2年7月豪雨についても公開する取組みを進めており、さらなるサイトの充実と全国の災害対応力の向上につなげていきます。

ホームページ: <https://www.kumamoto-archive.jp/>

熊本地震デジタルアーカイブ事業
寄附金充当額 6,298千円

8

世界で活躍するアスリートの発掘・育成に取り組んでいます



オリンピックをはじめとする国際スポーツ大会で活躍可能なアスリートを育成選手として指定し、育成・強化を図るとともに、小学生を対象とした育成プログラムを実施するなど次世代を担うアスリートの発掘・育成を行い競技力向上と継続的なトップアスリート輩出を目指しています。

※東京2020オリンピック代表に指定選手から13名が選出

くまもとワールドアスリート事業
寄附金充当額 14,649千円

9

児童相談所一時保護所の児童に配慮した空間づくりを行っています



児童相談所一時保護所は、様々な家庭背景、年齢、保護理由のある児童が短期間ともに生活する場ですが、児童の個性に応じ、分散して自由に過ごすことのできる空間が少ないことが課題の一つとなっています。

一時保護児童の安全・安心を確保し、個性や特性に応じた家庭的で快適な過ごし方ができる空間づくりに必要な改修工事や備品の購入等を行います。

中央一時保護所生活環境改善事業
寄附金充当額 10,000千円

10

障がい者芸術の 展覧会開催を支援しています



熊本県立美術館本館展覧会場での民間団体による「アール・ブリュット展」の開催を支援し、障がい者芸術の認知度向上と障がいの社会参加の促進に向けて取り組んでいます。

※アール・ブリュットとは、生(き)の芸術という意味のフランス語。正規の美術教育を受けていない人が、自由に制作した絵画や造形のことをいいます。

障がい者芸術・文化推進事業
寄附金充当額 2,000千円

11

地域づくりの取組みを支援しています



地域の特性や資源を活かして、市町村や地域団体等が自主的に行う地域活性化の取組みなどを総合的に支援しています。

令和2年度は、美しい景観等を活用したツーリズムや地域の特産品を活用した交流促進の取組み、移住定住者の増加を図る取組みなど、様々な地域づくりの取組みを支援しました。

令和3年度は、令和2年7月豪雨からの復興に資する取組みなどを支援しています。

地域づくりチャレンジ推進事業
寄附金充当額 20,000千円

12 企業の農業参入を支援しています



農業の担い手の減少が続く中、企業の農業参入を多様な担い手の確保及び地域活性化の起爆剤として位置づけ、地域との調和を図りながら、農業に参入する企業に対し総合的な支援を行っています。

また、令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域において、被災地への企業の農業参入及び被災地企業の規模拡大を支援しています。

企業の農業参入トータルサポート事業
寄附金充当額 10,100千円

13 農業分野における人材確保を支援しています



農業現場に外国人材、潜在的労働者、障がい者といった多様な人材を結びつける新たなマッチング機能をJA熊本中央会を中心に創設し、人材確保に係る支援を行っています。

特に障がい者については、コーディネーターを配置し、障がい者の適性に合った働く場を確保する「農福連携」を進めています。

くまもと農業人財総結集支援事業
寄附金充当額 5,000千円

14

市町村の防災体制・災害対応力の強化を支援しています



熊本地震や令和2年7月豪雨の経験を踏まえ、防災上の課題を解決するため、市町村に防災アドバイザー・専門家を派遣し、具体的な提案・助言等を行うことで、いつ起きるかわからない次の災害への備えや対応力の向上を支援しています。加えて、市町村間での相互支援の仕組みづくりなど連携促進にも取り組みます。

市町村防災体制・災害対応力強化支援事業
寄附金充当額 2,000千円

15

土砂災害警戒区域の指定のための調査を行っています



土砂災害から県民の命を守るため、渓流や急傾斜地など土砂災害の発生のおそれがある区域の調査を行い、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）や土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を指定し、広く周知を図ります。

指定後は、警戒避難体制の整備や建築物の構造規制等を実施することにより、住民の皆様の安全を確保します。

土砂災害警戒避難対策事業
寄附金充当額 90,000千円

16

ゼロカーボン実現に向けた取組みを進めています



熊本県は「2050年
CO₂排出実質ゼロ」
をめざします！

2050年県内CO₂排出実質ゼロに向け、産業部門におけるCO₂削減を進めるため、排出削減に意欲的な企業を中心に、電力会社、金融機関、国等とともにゼロカーボンに向けた課題や情報を共有し、課題解決に向けた検討を行っています。

県内企業の連携によるCO₂削減とともに、新たなビジネスの創出等による地域経済の発展につなげることを目指しています。

2050くまもとゼロカーボン推進事業
寄附金充当額 7,000千円

17

球磨川流域での
住宅のCO₂削減を推進しています



高断熱住宅の普及によるゼロカーボンの推進と令和2年7月豪雨で被害の大きかった球磨川流域の創造的復興を目指し、令和3年4月から球磨川流域における住宅の新築やリフォーム時の断熱化に対する補助を行っています。

球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業
寄附金充当額 10,000千円

18

生活再建に向けた総合的な支援を行っています



消費生活上の様々な課題を抱え、生活再生の支援が必要な方々に対して、グリーンコープ生活協同組合くまもとで相談を受け付け、家計診断やセーフティネット貸付など多様なメニューを活用しながら、生活再建に向けたフォローアップを行っています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う相談も多く寄せられています。

消費者自立のための生活再生総合支援事業
寄附金充当額 2,000千円



くまモン応援分

19

「くまモン隊」の活動を支援しています



九州新幹線開業をきっかけにデビューした熊本県のPRキャラクター「くまモン」は、多くの方々の応援を受け、活動開始から11年目を迎えることができました。

コロナ禍においては、新しい生活様式を啓発するための「コロナピクト」を積極的に展開し、国内外の学校、病院、店舗等でご利用いただいています。

「くまモン」が100年後も愛されるキャラクターとなることを目指し、「くまモン応援分」のご寄附や海外でのイラスト利用料等を基金として積み立て、継続的な活動を支えています。

くまモン活躍基金積立金
寄附金充当額 20,000千円



夢教育応援分

20

被災した世帯の大学進学等を支援しています



進学には様々な費用が必要となりますが、熊本地震により被災した世帯では、生活再建等で、既に大きな経済的負担を強いられています。被災した世帯の子どもが大学等に入学する際に必要な費用を、給付金として支給することで、奨学金と合わせて経済的な不安を軽減し、進学したいという夢を後押しします。

熊本県夢応援進学給付金
寄附金充当額 3,500千円

21

高校交換留学及び海外大学への進学を支援しています



海外留学を希望する高校生及び海外大学へ進学する大学生等に対し、高校交換留学及び海外大学への進学に対する支援金の支給や、留学支援員による留学説明会・学校訪問等での情報提供を行っています。

高校交換留学や海外留学には多額の費用がかかるため、支援金により生徒の海外留学を後押しします。

海外留学促進事業
寄附金充当額 2,000千円

22

グローバル人材の育成に取り組んでいます



明日の熊本を担うグローバル人材の育成を目指し、中学3年生の英語検定受験料(実用英語技能検定、GTEC)を1/3以上補助する市町村や、県立中学3年生及び県立高校2年生のうち非課税世帯の生徒に対し、受験料の補助を行っています。

補助に対する多くの感謝の声をいただき、令和5年度までに中学3年生の英検3級相当以上の取得率40%を目指しています。

英語検定チャレンジ事業
寄附金充当額 16,827千円



NPO等支援分

23

NPO等の公益的な活動を支援しています



地域における様々な課題の解決に向け、まちづくりの推進や災害時の救援、子どもの健全育成といった公益的な活動を行うNPO等を支援しています。

登録されたNPO等の中から応援したい団体を指定し寄附をいただくと、その2分の1が各NPO等の公益的な活動に役立てられます。寄附金の残り2分の1はNPO等を支援する県の事業等に活用されます。

県民との協働推進事業
寄附金充当額 509千円



新型コロナウイルス感染症対策分

皆様から令和2年度にお寄せいただきました寄附金の一部は、令和2年度に実施しました次の新型コロナウイルス感染症対策に充てさせていただきました。

24

生活困窮大学生等の学びの継続を支援しました

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、修学費用が賸えなくなるなど、困窮した大学生や専修学校生等を支援するため、県内大学等や県出身で県外大学等に進学した学生に5万円を給付する事業を実施し、学びの継続支援に取り組みました。

生活困窮大学生等のための給付金交付事業
寄附金充当額 206,650千円

25

子ども食堂を安全・安心に利用できるよう支援しました

新型コロナウイルス感染症拡大により、子どもたちに食事や居場所を提供する活動に影響が出た子ども食堂に対し、新型コロナウイルス感染症予防に必要な衛生対策等の経費を助成する制度を創設しました。

令和2年度には42箇所の子ども食堂に助成を行い、子どもたちが安全・安心に利用できる環境づくりに取り組みました。

子ども食堂活動緊急支援事業
寄附金充当額 15,000千円

令和2年度(2020年度)ふるさとくまもと応援寄附金 充当事業 (令和3年度(2021年度)実施分) (単位:千円) ※一部、令和2年度以前に寄せられた寄附金の積立分も充当しています。

■ ふるさとくまもとづくり応援分

事業名	寄附金充当額	ページ
1 世界文化遺産登録推進事業	10,000	
2 「くまもと手仕事ごよみ」推進事業	2,000	
3 くまもと国際音楽祭支援事業	10,000	
4 脱トリプルパンチ 心の復興支援事業	20,000	p.4
5 若者のアウトバンド推進事業	2,000	
6 教育サポート事業	30,000	
7 「親の学び」推進事業	3,000	
8 子供の読書活動推進支援事業	1,000	
9 未来へつなくキャリア教育推進事業	1,000	
10 高校生キャリアサポート事業	10,000	
11 スクールカウンセラー活用事業	30,000	
12 スクールソーシャルワーカー活用事業	20,000	
13 いじめ防止対策推進事業	4,000	
14 いじめ未然防止推進事業	1,000	
15 幼児教育推進体制の充実・活用強化事業	1,000	
16 肥後っ子かかやき推進事業	1,000	
17 くまもとワールドアスリート事業	14,649	p.6
18 子どものスポーツ環境整備支援事業	18,050	
19 施設通所等交通費支援事業(御所浦振興)	1,000	
20 災害弔慰金事業	7,000	
21 生活困窮者総合相談支援事業(通常分)	10,000	
22 生活困窮者自立支援プラン推進事業(通常分)	10,000	
23 産前・産後母子支援事業	1,000	
24 児童家庭支援センター事業	4,000	
25 里親推進事業のうち里親養育包括支援(フォスタリング)事業	7,000	
26 社会的養護自立支援事業	2,000	
27 中央一時保護所生活環境改善事業	10,000	p.6
28 地域療育総合推進事業のうち障害児等療育支援事業(地域療育センター)	5,000	
29 発達障がい者支援体制整備事業のうち発達障がい地域支援体制サポート事業	2,000	
30 発達障がい者支援医療体制整備事業のうち発達障がい診断待機解消事業	2,000	
31 障がい者芸術・文化推進事業	2,000	p.7
32 御所浦医療提供体制強化支援事業	7,000	
33 熊本県がん患者妊よう性温存治療費助成事業	1,000	
34 ハンセン病事業費のうちハンセン病回復者・家族支援事業	3,000	
35 地域づくりチャレンジ推進事業	20,000	p.7
36 阿蘇草原再生事業	3,000	
37 御所浦地域活性化推進事業	3,000	
38 湯島活性化推進事業	1,000	
39 がまだす里モンク支援事業	3,000	

事業名	寄附金充当額	ページ
40 中山間農業モデル地区支援事業	30,000	
41 空家等対策総合支援事業のうち空家利活用モデル事業	1,000	
42 阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業	10,000	
43 事業承継加速化推進事業	1,000	
44 商工会商工会議所・商工会連合会補助(事務・事業費分)	4,000	
45 市町村施設整備促進事業	5,000	
46 地域未来モデル事業のうちフード/バー/地域農産物活用拠点強化事業	2,900	p.4
47 企業の農業参入トータルサポート事業	10,100	p.8
48 スマート農業普及推進事業	5,000	
49 くまもと農業人財総結集支援事業	5,000	p.8
50 畜産経営バックアップ事業	3,000	
51 熊本型新規就農総合支援事業	10,000	
52 熊本とつながる農業外国人人材育成事業	2,000	
53 くまもと農のひとづくり事業	1,000	
54 くまもと農業の継承支援事業	10,000	
55 スマート農業実践による就農促進事業	1,000	
56 林業イノベーション現場実装推進事業	3,000	
57 くまもとの木材グリーン化推進事業	2,000	
58 くまもとの漁村元気づくり事業	6,000	
59 未来の漁村を支える人づくり事業	2,000	
60 スマート畜産業技術開発事業	5,000	
61 水保・青北地域水産物ブランド創出事業	500	
62 スマート沿岸漁業推進事業	1,000	
63 実践的防災強化強化事業	5,000	
64 自助力強化推進事業	5,000	p.3
65 市町村防災体制・災害対応力強化支援事業	2,000	p.9
66 災害時緊急医薬品等供給対策事業	1,000	
67 土砂災害警戒避難対策事業	90,000	p.9
68 危険地区からの移転促進事業(砂防課)	20,000	
69 治水堤防費	50,000	
70 危険地区からの移転促進事業(建築課)	2,000	
71 危険ブロック塀等安全確保支援事業	5,000	
72 くまもとの「まち」と「ひと」を守る声かけ安心実現事業	20,000	
73 会計年度任用職員雇用事業のうち警察安全相談員の設置	10,000	
74 会計年度任用職員雇用事業のうち交通相談員の任用	50,000	
75 迅速・的確な初動警察活動の強化	80,000	
76 2050くまもとゼロカーボン推進事業(カーボンゼロトリックス事業)	7,000	p.10
77 球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業	10,000	p.10
78 海洋プラスチックごみ対策事業(プラごみリサイクル推進事業)	2,209	
79 環境保全型農業総合支援事業	6,000	
80 地下水と土を育む農業総合推進事業	30,000	

事業名	寄附金充当額	ページ
81 耕作放棄地解消事業	2,000	
82 森林環境保全整備事業	50,000	
83 内水面漁業振興対策事業	1,000	
84 有明海・八代海再生事業	4,000	
85 熊本地震震災ミュージウム具体化推進事業	5,000	p.5
86 TONE PIECE®連携復興応援事業	37,500	
87 熊本地震デジタルアーカイブ事業	6,298	p.5
88 グローバルジュニアドリム事業	1,000	
89 消費者自立のための生活再生総合支援事業	2,000	p.11
90 災害弱者支援事業	5,000	p.3
91 動物愛護推進事業	15,000	
92 高等学校等通学支援事業(7月豪雨対応分)	20,000	p.4

■ くまモン応援分

事業名	寄附金充当額	ページ
93 くまモン活躍基金積立金	20,000	p.11

■ 夢教育応援分

事業名	寄附金充当額	ページ
94 有夢学舎運営費補助	248	
95 夢教育応援補助	379	
96 熊本県夢応援奨学金給付金	3,500	p.12
97 熊本時習館海外チャレンジ推進事業(高校生留学支援)	500	
98 夢教育応援事業	9,331	
99 海外留学促進事業	2,000	p.12
100 英語検定チャレンジ事業	16,827	p.12

■ NPO等支援分

事業名	寄附金充当額	ページ
101 県民との協働推進事業	509	p.13

■ 新型コロナウイルス感染症対策分(令和2年度実施)

事業名	寄附金充当額	ページ
生活困窮大学生等のための給付金交付事業	206,650	p.13
子ども食堂活動緊急支援事業	15,000	p.13

熊本のすがた



県木 クスノキ



県花 リンドウ



県鳥 ヒバリ



県魚 クルマエビ

人口・世帯数(R3.8.1現在)

1,726,443人
735,037世帯

合計特殊出生率
(R1人口動態統計)

1.60(全国8位)

平均寿命(H27厚生労働省)

男 81.22歳(全国7位)
女 87.49歳(全国6位)

産業別県内総生産構成比
(H30県民経済計算報告書)

第1次産業 3.4%
第2次産業 26.6%
第3次産業 69.5%

令和2年7月豪雨について

●被害の状況(R3.9.2現在)

人的被害

死者 67人
(うち災害関連死者 2人)
行方不明者 2人

住家被害

全壊・半壊 4,607棟

●復旧・復興の状況

応急仮設住宅等の入居状況

(R3.8月末現在)

1,535戸(最大時1,814戸)
3,481人(最大時4,217人)

○熊本県の令和2年7月豪雨関連予算額

累計

1,838億円(R3当初予算まで)

熊本地震について

●被害の状況(R3.9.13現在)

人的被害

死者 268人
重軽傷者 2,736人

住家被害

全壊・半壊 43,031棟
一部破損 155,219棟

●復旧・復興の状況

応急仮設住宅等の入居状況

(R3.8月末現在)

73戸(最大時20,255戸)
214人(最大時47,800人)

○熊本県の熊本地震関連予算額

累計

1兆133億円(R3当初予算まで)

発行／熊本県総務部市町村・税務局税務課

〒862-8570(県庁専用郵便番号)熊本市中央区水前寺6丁目18番1号(熊本県庁本館3階)
電話 096-333-2098 メール k-furusato-n@pref.kumamoto.lg.jp

発行者:熊本県
所属:税務課
発行年度:令和3年度

©2010熊本県くまモン